

シリーズ 教育相談 Q&A 「登校を渋る子どもの理解と対応」

Q 発達障害のある中学校二年生男子の母親です。小学校では、相手の気持ちを考えず、思ったことをすぐに口にしてしまうところがあり、クラスのトラブルのきっかけをつくるのが時々ありましたが、クラスは、保育園から一緒という友達ばかりで理解もあり、楽しく学校生活を送ることができていました。中学校に入ると、たくさんの宿題やプリントが出るようになり整理が難しく、提出物が期限までにしななくなったり、急な教室の変更などに対応できなかつたりなど、情緒的に不安定になることもありました。さらに、授業中の衝動的な発言から、悪口を言われる等の友達関係のトラブルも増えてきました。その結果、「ぼくなんかどうせだめなんだ」と自信をなくした発言が次第に多くなっていきました。二年生になると次第に集団へ入ることの不安が大きくなり、登校渋りをするようになり、登校しても保健室で過ごすことが多くなっています。このような息子にどのように関わっていくのがよいのでしょうか。

A 登校を渋るお子さんのことが心配ですね。まずは、障害特性を踏まえ、お子さんの困っていること、背景にある要因を探り、そこに対応した具体的な方法を導き出していくことが必要であると考えます。小学校から中学校へ入学すると、教科担任制、定期の試験、宿題や提出物による評価等、大きな環境の変化が生じます。お子さんの場合は、各教科担任が出す宿題や提出物について整理して順番に課題に取り組んでいたり、提出物の内容や期限を聞き取っていたりすることに困難さを感じているのではないのでしょうか。

また、急な教室変更に対応できず、不安定になるということから、自分で見通しがもてないことには不安が高くなる傾向にあることが予想されます。

さらに、授業中に衝動的な発言をすることから、その場の状況に応じて発言したり、相手との間の微妙なニュアンスを理解したりということに困難さがあるために、友達との関係にずれが生じ、友達から悪口を言われたり、面倒がられたりしてしまうと考えられます。

このように学習面・生活面・友達との関わりの面でうまくいかないという経験が積み重なったことによって、自己肯定感を低下させ、集団に入ることには不安を抱き、登校を渋るようになったと考えられます。

そこでまずは、提出物を期限内に出すことができない、友達と仲良くしたいのにうまく関わることができないというお子さんの困っている気持ちや苦しい気持ちにしっかりと寄り添い、「苦しかったんだね」とありのままの気持ちを受け止めることで本人は楽になるのではないかと考えられます。

提出物の管理、提出については、「必要な情報はメモをとる習慣をつけていく」、「色分けをしたファイルを用意して教科ごとに、整理し、管理をしていく」といったことを行っていくのがよいのではないのでしょうか。

友達との関わりについては、大人が「周りの様子を分かりやすく言葉にして伝える」「前後関係と関係づけながら説明する」といった方法でお子さんができるのがよいかを伝えるようにするとよいでしょう。

これらのことについて、まずは担任や特別支援教育コーディネーターと相談し、担任を中心とした関わりのある先生と保護者が連携をし、取り組んでみてはいかがでしょうか。そして成功経験を積み重ねることで、自分ではできる、今の自分で大丈夫という自己肯定感を高め、学校に行こう、友達との関わりを楽しもうとする気持ちにつなげていくことが大切ではないのでしょうか。そして、徐々に登校の後押しをしていくとよいのではないのでしょうか。

「うちの子がいじめられているかも…」 「子育てに自信が持てません」 など ひとりで悩まないで

ひとりで悩まず、気軽にあなたに合った窓口にご相談ください。相談内容などの個人の秘密は固く守られます。

相談は臨床心理士など専門的資質を備えた教育相談員や医師、学生ボランティアなどがあたり、電話相談や面接相談など相談方法も多様となっています。

子育てに悩みはつきものです。

一人で悩まず、相談しましょう。

こんな悩みがありませんか？

何度言っても同じことばかり…

しつけの効果が現れるのには、時間がかかります。あせって、感情的になるのは逆効果です。

他の子どもはできているのに…

成長には個人差があります。年齢や個性に応じて、分かるように教えることが必要です。

欠点ばかりが気になる…

欠点は誰にでもあります。そして、必ず「良いところ」もあります。

岡山県青少年総合相談センター ～ハートフルおかやま110～

ホームページは、ハートフルおかやま110で検索

場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館「きらめきプラザ」4階 岡山市北区南方2丁目13-1

6つの特色ある相談窓口が相互に連携し、青少年や保護者からのご相談に、迅速かつ的確に対応します。

相談窓口	電話番号	相談方法等	受付時間等
総合相談窓口	(086)224-7110	電話・面接(要予約)相談・メール相談 sodan110@po1.oninet.ne.jp	8:30~22:30(時間外はメール)どんな相談もOK、相談内容に応じて他の窓口も紹介
教育相談	(086)221-7490	電話・面接(要予約)相談	8:30~22:30 いじめ、不登校、非行、教育、性格、行動等の相談
進路相談	(086)224-1121	電話・面接(要予約)相談	8:30~17:00 不登校生徒や高校中途退学者等の進路の相談
子どもほっとライン	(086)235-8639	電話・メール相談 kodomo@fine.ocn.ne.jp	17:00(土・日・祝日は8:30)~22:30 学生ボランティアが受付 子ども自身の悩み、学習、性格、行動等の相談
すこやか育児テレホン	(086)235-8839	電話・メール相談 sukoyaka@po1.oninet.ne.jp	8:30~22:30 親自身の育児の悩み、非行、教育、性格、行動、言葉、心身の障害、発達の遅れ等の相談
ヤングテレホンいじめ110番	(086)231-3741	電話・面接(要予約)相談・メール相談 youngmail@pref.okayama.jp	24時間受付(面接 8:30~17:00)いじめなどの悩みや、非行、家出などの少年相談

岡山県総合教育センター

相談内容	電話番号	相談日時等
不登校・いじめなど学校生活に関する事 学業に関する事 家庭教育に関する事 など	(0866)56-9115	月・水・木・金曜日 9:00~19:00 火曜日 13:00~19:00 第2・第4土曜日 9:00~17:00 ※第2・第4土曜日は、登校して平日の相談に来所しにくい児童生徒の相談を優先します。
お子さんの発達や障害に関する事 障害のあるお子さんの学習面などの学校生活に関する事 障害のあるお子さんの家庭生活に関する事 など	(0866)56-9117	月・水・木・金曜日 9:00~17:00 火曜日 13:00~17:00
医師による教育相談	上記電話で相談予約	第4水曜日 16:00~18:00 専門医が相談・助言をします。

※面接相談では、親子それぞれに別の相談員が担当する並行面接を行うことができます。来談者の約7割が親子並行面接を行っています。
※保護者の希望により学校、医療機関等との連携が可能です。 ※医師による教育相談は相談日が変更になる場合がありますので、電話予約の際にご確認ください。

◆市町村教育委員会の相談所(室)・各地域の少年サポートセンター・青少年育成(補導)センターなど、このほかの相談機関については、ホームページをご覧ください。

主な相談機関 岡山県 [検索](#)

◆24時間対応 全国統一いじめ相談専用ダイヤル
0570-0-78310
児童・生徒のいじめについての相談 24時間受付



子どもの健やかな育ちのために



今年3月に児童虐待防止に向けて、保護者用リーフレット「子どもの健やかな育ちのために」を作成し、各家庭に配布しています。保護者の孤立防止や子育ての悩みを相談できる機関について紹介しています。県教育庁人権教育課のホームページにも掲載していますのでご利用ください。

リーフレット 子ども 岡山県 [検索](#)

児童虐待の早期発見

- 子どもの様子(例)
- いつも表情が暗く元気がない
 - 不自然なげがが見られる
 - 季節・気温にそぐわない服装をしている
 - 衣服や体が極端に不潔である
 - むし歯が極端に多い
 - 家に帰りがたらない
 - 保護者がいなくなると急に表情が晴れやかになる など

このような子どもを見かけたら、児童相談所等へ連絡してください。虐待かどうかの判断は児童相談所等が行います。虐待でなかったとしても連絡した人が責任を問われることはなく、連絡した人の秘密も守られます。安心して連絡してください。

児童相談所

児童相談所 全国共通ダイヤル 0570-064-000

児童相談所名	電話番号	受付時間
岡山市子ども総合相談所	086-803-2525	月~金 8:30~17:15
岡山県中央児童相談所	086-235-4152	月~金 8:30~17:15
岡山県倉敷児童相談所	086-421-0991	月~金 8:30~17:15
井笠相談室	0865-69-1680	月・火・木 8:30~17:15
高梁分室	0866-21-2833	月・火 8:30~17:15
新見相談室	0866-21-2833	木・金 10:00~16:00
岡山県津山児童相談所	0868-23-5131	月~金 8:30~17:15